

胃内視鏡検査を受けられる方へ

内視鏡検査は食道・胃・十二指腸の潰瘍やがん等の診断にとって最も重要な検査です。以前は「胃カメラ」と言われていましたが、現在では超小型のテレビカメラを組み込んだ電子スコープを使用します。スコープの太さは9ミリ前後と細く、以前のものと比べてとても飲みやすくなっています。

【検査前の注意】

☆検査の前日

- ・夕食は午後9時頃までには済ませてください。
- ・それ以後は何も食べないでください。水やお茶は普通におとりください。
- ・普段から就寝前に薬を服用されている方はいつものようにお飲みください。

☆検査の当日

- ・朝食は絶対にとらないでください。
- ・牛乳・コーヒー・紅茶・ジュース等も飲まないでください。
- ・薬は原則として服用しないでください。ただし、血圧の薬と心臓の薬は服用してください。
- ・前処置の前までは水分（水・お茶）を多めに摂ってください。
- ・来院時、タオルとティッシュペーパーと水またはお茶をご持参ください。
- ・検査の目的により、多少順番が前後することもありますのでご了承ください。

【検査前の注意】

- ①検査の前に、胃の中をきれいにするための水薬を飲みます。
- ②検査時には、はずせる入れ歯はとってください。また、眼鏡やネクタイもとってください。ズボンやスカートをゆるめておいてください。
- ③のどの麻酔の時には、ゼリー状の麻酔薬はできるだけのどの奥にためておいてください。
- ④検査台に上がられましたら、胃の動きをおさえる注射を肩にうちます。
- ⑤内視鏡を飲みます。落ち着いたところで、食道・胃・十二指腸がよく見えるように、空気でふくらませます。「げっぷ」はできるだけ出さないよう我慢してください。
- ⑥必要に応じて、生検や色素散布を行うことがあります。

—検査のコツ—

検査の時間は10分程度です。その間、全身の力を抜き（とくに肩の力）、ゆっくり複式呼吸（口でため息）をしていると、たいへん楽に検査ができます。

検査の前に練習しておきましょう。

☆生検について

粘膜から小さい組織をつまみ取って、顕微鏡で細胞を調べることがあります。痛みはありません。2ミリ位の小さい傷ができますが2～3日で治ります。

☆色素散布について

粘膜の細かい変化を診断するために、色素液をまくことがあります。あとで尿や便に色がついたり、胸やけが残ることがありますが心配ありません。

【検査後の注意】

- のどのしびれがとれるまでは（30分位）食事をしないでください。
- 注射をした方は多少まぶしくなったり、排尿しにくくなることがあります。
- 当日は車の運転は止めてください。
- 医師や看護師から、検査後の注意事項を説明しますので、疑問がありましたら、遠慮なくお尋ねください。
- 検査の後で、のどの痛みや腹痛がどんどん強くなってきたり、黒い便が続くような時、その他何か異常がある時は、消化器内科までご連絡ください。

【検査後の結果について】

- 内視鏡検査は、その場でおおよそのことが分かります。
- しかし、最終的な結果はフィルムが現像されてからになります。1週間以降に紹介元の医療機関を受診してください。
- なお、生検を受けられた方は、検査結果が出るのに14日程を要しますので、紹介元の医療機関への結果受診は、検査後14日以降にお願いいたします。

検査についての問い合わせは、下記にお願いします。

大垣市民病院

消化器内科

TEL 0584 (81) 3341

内線 2131